

新年度更新処理について

シンシステムデザイン <http://www.ssdesign.co.jp>

新年度更新処理の概要

- 新しい年度になっても前年度の会計にそのまま仕訳を入力してください。
ただし、伝票番号は前年会計からの連番になりますので仕訳伝票などの印刷は、仮番号として扱ってください。
- 新年度往診処理を行うと、次のようになります。
 - ・新しい年度のデータフォルダが出来て必要なデータが前年度からコピーされて移動します。
 - ・伝票番号は1番からの連番に変わります。
 - ・前年度のB/Sの期末残高は、新年度の期首繰越金になります。
 - ・前年度のP/L科目の決算額は前年実績の欄に入ります。
 - ・前年度に作成した次年度予算は、新年度の当初予算に移動します。
 - ・前年度のデータは変更されません。
- 新年度処理が終わったら、初期設定メニューでデータパス名、会計期首、繰越金等を確認してください。

【補足事項】

- ・ 新年度更新を行ったあと、前年度の会計を修正しても新しい年度のデータは変更されませんので、繰越金などは“繰越金設定”で修正してください。
- ・ 新年度更新処理をやり直したいときは、新年度のデータフォルダを削除すると、再度新年度更新処理が出来るようになります。

新年度更新処理の手順

補助作業メニュー ⇒ 新年度更新処理

- 新年度のデータパス名を設定します。
下図の例では、2014¥としています。
- 会計期末期日は、前年度会計末の期日です。通常は変更しないでそのまま実行してください。

データベース名【2013¥】

新年度更新処理

すべての部門(経理区分)が同時に新年度更新処理されます。

詳細な説明はここをダブルクリック

データベース名

前年度 2013¥

↓

新年度 2014¥

新年度のデータベース名を入れてください。

会計期末期日

前年度会計と新年度会計の境になる期日

2014年3月31日

実行

キャンセル

会計期末の正しい期日が自動的に出ますが、もし違ってある場合はこの処理を中断して、会計期首期日や会計の選択をもう一度、確認してください。

0%

- 新年度更新処理が終わったらメインメニューに表示されるデータパス名を確認してください。

初期設定メニュー | メインメニュー | 補助作業メニュー

データベース名【2014¥】

会計の登録 & 変更

新年度更新処理を行った後での確認

- 初期設定メニューの会計期首が正しいことを確認してください。

データベース名【2014年】

ライセンスキー登録

閉じる(C)

会計期首

2014/04/01

例) 1999/04/01

職印 1

職印 2

職印 3

- 初期設定メニューの繰越金の確認を各部門について行ってください。(重要)

いるか保育園

再計算

0円表示
 する しない

印

部門の変更はここ

code	科目名	期首繰越
10000	【資産の部】	
11000	流動資産	3,000,000
11010	現金預金	3,000,000
11020	現金	50,000
11040	預金 1	950,000
11050	預金 2	1,000,000
11060	預金 3	1,000,000
11300	有価証券	
11320	事業未収金	
11340	未収金	
11360	未収補助金	
11380	未収収益	

【補足事項】

- ・ 新年度更新処理は、前年度の決算が確定してから行ってください。
- ・ もし、新年度更新処理を行った後で前年度の会計の修正を行っても新年度の繰越金には自動的に反映されることはありませんので、手で修正をしてください。